

くらさん

緊急時避難訓練(6月9日金)



6月9日(金)、緊急時避難訓練を行いました。不審者の出現や天災等で、授業を打ち切り緊急に子どもたちを保護者の方々に引き渡す訓練です。緊急時避難には、大きく分けて次の3つの場合があります。

- ①保護者への引き渡しを要しないで全員下校をさせる場合
- ②自分で下校する子どもと保護者への引き渡しをする子どもと分かれて下校する場合
- ③原則、全員保護者への引き渡しで下校させる場合

今回は、②の場合を想定して緊急時避難訓練を行いました。事前の連絡では、迎えに来られる場合は、徒歩で15時30分～16時の間に体育館へ来られるようお願いしていま

したが、早い方は15時ころには迎えに来られていたようでした。実際に、引き渡しが始まったのは15時35分ころからでした。早く来られた方の中には、なんでこんなに時間がかかるんだろうと思われた方もおられると思います。実際、そのような不満をおっしゃる方もおられたようです。ところが、学校が保護者の方に子どもさんを引き渡す際に**一番注意しなければならないことは、お子さんを確実にその保護者の方に渡す**ということです。保護者の方が迎えに来られたが、当のお子さんの姿が見当たらないという事態は決してあってはなりません。そのため、学校では、自分で下校する子どもと保護者の方に引き渡す子どもとを間違いなく分けた後に、引き渡す子どもだけを体育館に移動させ、そこで引き渡す予定の子どもが全員いるか再度確認をいたしました。そして全員いるということが確認できてから、一人一人チェックしながら引き渡していったわけです。人の命にかかわる引き渡しです。子どもが体育館に入ってから引き渡しが始まるまでに少し時間がかかるということに関して、ご理解をお願いします。なお、当日、最後の子どもさんを引き取りに来られたのが17時30分でした。ご協力ありがとうございました。

一方、自分で下校する子どもの場合は、一斉下校という方法をとっています。グループを作ったの集団下校ではありません。ただし、各方面に一人ずつ教師が同行し、最終目的地まで危険箇所などを点検しながら子どもたちを見送っています。子どもたちは指定通学路を歩いて下校し、自宅が近づくと、学期初めに申告している通学路に分かれて家に帰っています。

学校にいて、保護者の方のお迎えによる引き渡しの仕事をする職員と、子どもたちの一斉下校に同行し見送る職員とに分かれての今回の下校訓練でした。今回の訓練の反省をもとに、もう少しスムーズに引き渡しをする方法など検討し、今後に生かしていきたいと思います。なお、残念なことに、当日、正門前に車で乗り付け、正門前に車を止めたままの方がいらっしゃいました。このような行為は、車の通行並びに他の方に大変ご迷惑をかけますのでおやめください。

今回の訓練では行いませんでしたが、**③原則、全員保護者への引き渡しで下校させる場合** ですが、考えられるケースとしては、今子どもたちを一人で下校させるのは危険と判断される場合で、例えば、警察等から連絡が入り「凶悪犯人が凶器を持って本校近辺に隠れていると考えられる」時などです。また、教育委員会からの指導では、**震度5弱以上(5弱も含む)の地震**が起きた際は、**原則、全部の子どもたちを保護者へ引き渡す**ようになっています。③のような、全員保護者への引き渡しによる下校もありうることでありますのでご承知おきください。

パワーアップタイム(月・水の朝自習の時間

実施)



本校では、毎週月曜日と水曜日の朝自習の時間に、国語と算数を中心に基礎的基本的な知識や技能の定着を図るために、「パワーアップタイム」という時間を設けています。昨年までは、「チャレンジタイム」と名付けていましたが、今年からは「パワーアップタイム」と呼び名を変更いたしました。時には漢字の習得のため、時には整数・分数・少数の計算力アップのため、時には音読力や視写力アップのためなど、学年によってその時の学習内容は様々です。写真は、同じ日の

1・3・4・5・6年のあるクラスのパワーアップタイムの様子です。(2年生のクラスの写真は間に合いませんでした) 大型テレビに、タイマーを映し出し、時間も意識して取り組むようにしています。



